



NISHI EYE HOSPITAL

西眼科だより 第14巻4号

(季刊誌)

2012年10月発行

編集責任者：倉橋美雪

Nishi Eye Hospital

西眼科病院 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 4-14-26 TEL: 06-6981-1132

〈ホームページ〉 <http://www.nishi-ganka.or.jp>



最新の眼科医療

《角膜内皮移植(DSAEK)》

角膜の混濁(水疱性角膜症)を改善する治療法です。角膜内皮細胞(傷んだ部分)だけを取り替える角膜内皮移植(角膜パーツ移植)手術です。

《角膜クロスリンキング(CXL)リボフラビン紫外線治療》

円錐角膜・角膜拡張症・角膜水疱症の進行を抑える治療法です。角膜実質のコラーゲン組織にリボフラビン点眼液を浸透させ、そこに長波長紫外線を照射します。するとコラーゲン間に架け橋(クロスリンキング)ができ、角膜実質の強度を高める事ができます。

《老視矯正眼内レンズ》

☆多焦点(遠近両用)眼内レンズ mIOL

近くにも遠くにもピントが合う遠近両用の眼内レンズです。厚生労働省より当院で行う「多焦点(遠近両用)眼内レンズ」を用いた白内障手術が「先進医療」として承認されています。患者さんは、通常の「単焦点眼内レンズ」か「多焦点(遠近両用)眼内レンズ」のどちらかを選択できます。

☆追加挿入型 多焦点(遠近両用)眼内レンズ Add-On

既に白内障手術を受けられ、従来の単焦点眼内レンズを挿入されている眼に、更にもう1枚 多焦点(遠近両用)眼内レンズ Add-On(ドイツ製)を追加挿入し、遠方近方両方に焦点が合うようになります。術前術後の診察・検査・手術代(レンズ代含む) Add-On に関わる治療代は全て自費診療となります。

《トーリック眼内レンズ》

乱視を軽減できる「新しいタイプの眼内レンズ」です。手術後の裸眼視力が向上し、乱視用のメガネをかける必要性が少なくなります。

《屈折矯正手術》

近視・遠視・乱視を矯正する方法として◎眼内にレンズ(有水晶体眼内レンズ(Phakic IOL)を挿入する手術と◎エキシマレーザーを用いた(LASIK・Epi-LASIK・LASEK・PRK)手術があります。当院では月に1回〈無料説明会〉を開催中です。更にエキシマレーザーを用いた◎白内障術後の左右屈折力(視力)の違いを改善する(タッチアップ)手術と◎角膜変性症や帯状角膜変性を治療、角膜混濁を除去する(PTK)手術があります。

《加齢黄斑変性症の治療》

抗 VEGF 抗体(アバスタチン[®]・ルセンテイス[®]・マクジェン[®]等)を硝子体内に注射する事で、新生血管の増殖や成長を抑えることができる治療法です。

《炭酸ガスレーザー》

炭酸ガスレーザーを用いて、眼瞼下垂等の治療を行います。切開と同時に止血も行えるので、出血の少ない手術法です。

《鼻涙管内視鏡》

直径 0.9mm の筒状の器具を使用し、モニター映像をみながら涙道の閉塞部を検査処置します。

《ボトックス治療》

眼瞼痙攣に有効な治療法です。眼輪筋の周囲に極薄めたボツリヌス菌毒素を注射し、一定期間の痙攣を取り除きます。

特別外来



角膜外来

第2金曜日(午後)：[大阪大学医学部眼科 前田直之 教授](#)による「角膜外来」診療を行っております。「ドライアイ」「円錐角膜」「アトピー角膜感染症」「重篤な眼表面疾患」「遺伝性角膜疾患」など角膜や結膜のあらゆる疾患に取り組んでおります。

ぶどう膜炎外来

第4水曜日(午後)：[東京医科歯科大学眼科 望月 學 教授](#)による「ぶどう膜炎外来」診療を行っております。ぶどう膜炎とは眼内における炎症性疾患すべてのことを「ぶどう膜炎=(最近では)内眼炎」と呼びます。PCRによる遺伝子レベルの原因検査も迅速にできるようになりました。原因に応じた、より適確な治療が可能です。原因不明な再燃を繰り返す[ぶどう膜炎]の患者さんがおられましたら御紹介ください。